



東京外国語大学学長 中嶋 嶺雄

### 南北会談による影響は限られる

新しい世紀を目前に、国際政治の大きな変動が、とくにアジアで起こっている。まず、この数カ月の動きを振り返りながら、要点を分析してみよう。

去る三月中旬には、世界が注視するなかで台湾の総統・副総統の直接選挙が実施され、五月中旬には中国国民党から民主進歩党への政権交代が実現した。今世紀初頭の「孫文革命」以来の国民党執政史に明白な終止符が打たれたといってもよい出来事であった。

## 経済教室

# アジアに新・冷戦構造も

①二十一世紀にかけ国際政治はアジアを軸に大きく変動する。中国による、対日関係強化やベトナム、インドなどの戦略外交など、ユーラシア地域に一種の新・冷戦的な環境ができていく点を無視できない。

②それ以前に重要なのは、域内すべての国が社会主義、共産主義を改めなにかぎり、アジアで冷戦は終結しないとどうなるか。日本外交も、こうした原点を深く認識したうえで再構築を迫られよう。

いる中華世界やアジアの開 発独裁国家に民主の風 「情報」を伝えること によって、やがてアジアの 将来を内部から変革するこ とになるのではないかと。 六月中には、朝鮮半島 でのエキサイティングな南北 首脳会談が開かれた。金大 中韓大統領のビジョンヤン 訪問による金正日朝鮮労働 党総書記との会談は、朝鮮 程で伝えられる中身を見て も、このことは歴然として いる。

しかし、南北首脳会談は 朝鮮民族が自らアジアの国 際政治の主役たんとする ナショナリズムの激しさを 余すことなく示し出した という点で印象的であり、 そのことへの自意識が今後 の両者の関係を規定するで あろう。この自意識が即座 の排他的経済水域(EEZ) まで

## 中国、戦略の輪拡大 日本、認識改め外交刷新を

中国、戦略の輪拡大 日本、認識改め外交刷新を

南北朝鮮統一につながっ ていくと見なすには、なお 多くの時間を要する。した がって、今回の南北首脳会 談は、その衝撃性にもかか わらず、国際政治の上では 限定的な波及力しかもたな いていくであろう。

### ロシアはじめ

ロシアをはじめ、イランも利用 台湾や朝鮮といった東ア ジアの近隣に生じた 変化の背後に隠れて いながら、決して見 逃すことのできない 逃すことのできない

### 揺れ動く国際関係

民主主義人民共和国(北朝 鮮)と金正日氏が、自らを 覆ってきた厚いベールを一 瞬開放したことにより、 北朝鮮が永遠に閉ざされた 彼岸の国ではない現実をう かがわせたが、だからとい って自ら進んで此岸(中国) の関係を著しく強化しつ つ

最近の兆候は、「改革・開 放」による経済市場化の陰 で急速に進んでいる中国 の軍事大志向と、米國を 単独覇権国家と見なしてそ れに対抗しようとする膨張 主義的な世界戦略である。 その中国は最近ロシアと の関係を著しく強化しつ つ

「海洋開発」「新素材・ 新材料」など、幅広い分野 が考えられる。 国際的な技術開発競争の 激しさを考えると、技術革 新を通じてリーディング産 業の創出には行政の支援が 不可欠である。

### 技術革新②

## 縦割り行政の見直しを

だが、実際には縦割りの ためにより、来年一月の省庁 再編に伴い内閣府に設置さ れる「総合科学技術会議」 が主権を握るべきだ。

閣府設置法で科学技術行政 に関する政府内部の総合調 査の専門家を事務局に登用す

あり、北朝鮮とのさすなも 依然として強まっている。 このような中東関係の強化 は、米國が進めつつある国 家ミサイル防衛(NMD) 構想への一致した抵抗によ っても示されるが、江沢民 主席とプーチン大統領が主 席に参加したタシキスタン での中央アジア諸国首脳会 議でもうかがわれた。

それに最近旧共産党(人 民革命党)勢力の復活が著 しいモンゴルと中国との関 係強化やベトナム、カンボ ジアとの友好関係、さらに パキスタン、イランとの 「ミサイル取引」などを含 めれば、中国のしたたかな 世界戦略が感知できる。

こうしてアジアには、中 国を中心とするユーラシア 内部に一種の新冷戦的な環 境整備が進められつつあるこ とを無視してはならない。 朝鮮民族が自らアジアの国 際政治の主役たんとする ナショナリズムの激しさを 余すことなく示し出した という点で印象的であり、 そのことへの自意識が今後 の両者の関係を規定するで あろう。この自意識が即座 の排他的経済水域(EEZ) まで

### 来世紀アジアが 世界を動かす

世間では冷戦体制の崩 壊、ポスト冷戦といった認 識が常識化しているけれ ども、これは少なくともアジ アに関する限り、幻想で ある。確かに米ソ対立を軸 にした東西冷戦体制は、一 九八九年のベルリンの壁の 崩壊によって終えられた。 しかし冷戦とはそもそも 社会主義・共産主義と資本 主義・自由主義の対立を起 源として歴史的に形成され たものである。アジアには 中国、北朝鮮、ベトナムな

以上見てきたアジアの国 際政治の最近の変動に照ら せば、鳴り物入りでけん伝 された七月の主要国首脳会 談(沖繩サミット)が国際 政治・外交の貧困を白日の 下にさらしたのである。 世界的主要な論調がほと んど沖繩サミットを無視し たのは当然で、日本がアジ アの変動の意味を取り込め ない外交戦略を早急に構築 する必要がある。そこでは 環境、市場といったいわば 国際的な公共財や公共的価 値がポータビリティに尊重さ れなければならなくなる。

以上見てきたアジアの国 際政治の最近の変動に照ら せば、鳴り物入りでけん伝 された七月の主要国首脳会 談(沖繩サミット)が国際 政治・外交の貧困を白日の 下にさらしたのである。 世界的主要な論調がほと んど沖繩サミットを無視し たのは当然で、日本がアジ アの変動の意味を取り込め ない外交戦略を早急に構築 する必要がある。そこでは 環境、市場といったいわば 国際的な公共財や公共的価 値がポータビリティに尊重さ れなければならなくなる。

まとめ、改 正された。 十一世紀は「民の時代」で あり、国家の役割も大きく 変化して独裁政治ではなく 「民意に基づく政治」が、 市場原理が決定的に重要性 をもつことになる。 こうしてグローバルイズ ムがより普遍的な道標になる 環境、市場といったいわば 国際的な公共財や公共的価 値がポータビリティに尊重さ れなければならなくなる。

まとめ、改 正された。 十一世紀は「民の時代」で あり、国家の役割も大きく 変化して独裁政治ではなく 「民意に基づく政治」が、 市場原理が決定的に重要性 をもつことになる。 こうしてグローバルイズ ムがより普遍的な道標になる 環境、市場といったいわば 国際的な公共財や公共的価 値がポータビリティに尊重さ れなければならなくなる。

まとめ、改 正された。 十一世紀は「民の時代」で あり、国家の役割も大きく 変化して独裁政治ではなく 「民意に基づく政治」が、 市場原理が決定的に重要性 をもつことになる。 こうしてグローバルイズ ムがより普遍的な道標になる 環境、市場といったいわば 国際的な公共財や公共的価 値がポータビリティに尊重さ れなければならなくなる。

まとめ、改 正された。 十一世紀は「民の時代」で あり、国家の役割も大きく 変化して独裁政治ではなく 「民意に基づく政治」が、 市場原理が決定的に重要性 をもつことになる。 こうしてグローバルイズ ムがより普遍的な道標になる 環境、市場といったいわば 国際的な公共財や公共的価 値がポータビリティに尊重さ れなければならなくなる。

まとめ、改 正された。 十一世紀は「民の時代」で あり、国家の役割も大きく 変化して独裁政治ではなく 「民意に基づく政治」が、 市場原理が決定的に重要性 をもつことになる。 こうしてグローバルイズ ムがより普遍的な道標になる 環境、市場といったいわば 国際的な公共財や公共的価 値がポータビリティに尊重さ れなければならなくなる。

## 生産性を考える

帝京科学大学助教授 小林 和生

国民経済福祉の水準を計 国民経済福祉の水準を計 国民経済福祉の水準を計 国民経済福祉の水準を計

## やさしい経済学

やさしい経済学 国民経済福祉の水準を計 国民経済福祉の水準を計 国民経済福祉の水準を計 国民経済福祉の水準を計